

大阪市子育て安心マンション認定基準チェックシート

マンションの名称	(仮称) ○○○マンション		
申請区分	2. 計画認定申請	1. 事前協議 2. 計画認定申請 3. 変更計画認定申請 4. 工事等完了届出	
認定の型式	総合型	総合型 ・ 安全型	

記入例

【選択数集計表】

・次頁以降のチェックリストに適合項目を記入し、適合数と合計を記載してください。

視点	区分		総合型		安全型	
	安心のための工夫	項目	必要数	適合数	必要数	適合数
視点1 安全で安心	1. 事故を防止する工夫	(1) 転落防止	1	1	1	0
		(2) 転倒事故防止	2	2	2	0
		(3) 指はさみ事故防止	2	2	2	0
		(4) その他の対策<住戸専用部分>	4	4	4	0
		(5) その他の対策<共用部分>	3	3	3	0
	2. 侵入を防止する工夫	(1) 防犯	6	7	6	0
	3. 災害に備える工夫	(1) 防災	3	4	3	0
4. 健康を維持する工夫	(1) シックハウス対策	1	1	1	0	
視点2 快適で安心	1. 子どもの成長に応じて暮らしを変化させられる工夫	(1) 間取りの変化	1	1	1	0
	2. 子どもの様子を確認できる工夫	(1) 間取り等の工夫	1	1		
	3. 子どもも大人も快適に暮らせる工夫	(1) 生活音対策	2	2		
(2) 整理整頓		1	1			
視点3 便利で安心	1. 便利でスムーズにお出かけできる工夫	(1) 移動	2	2	1	0
		(2) 便利	2	2		
	2. 暮らしに便利な工夫	(1) 子どもに便利	1	1		
		(2) 大人にも便利	1	1		
視点4 楽しくて安心	1. 屋内外で遊んだり、交流したりできる工夫	(1) キッズルーム等	1	1	1	0
		(2) 児童遊園等	1	1		
視点5 いろいろ安心	1. 子育て支援する工夫や子育てしやすい周辺環境が充実している	(1) 子育て支援情報の提供	1	1	2	0
		(2) 子育て世帯のコミュニティ形成	1※	1		
		(3) ソフト面からの支援や周辺環境の充実	2	2		
合計			39	41	27	0

※賃貸マンションについてはこの限りでない。

視点1 安全で安心 <住戸専用部分・共用部分>

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)			今回の計画概要	図面番号	備考			
		総合型	安全型	基準						
1 事故を防止する工夫	(1) 転落防止 <住戸専用部分/共用部分>	■	必須	□	必須	① 転落防止のため、マンション内の建築物には、以下の対策の全てを講じている。ただし、避難階段など、居住者等が常時通行・利用しない部分は除く。				
						ア 屋上には、高さ180cm以上の手すりを設置している。	屋上	<ul style="list-style-type: none"> 居住者等の常時通行・利用 <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可(該当箇所なし) ↓ 手すり高さ cm 手すり子間隔 cm 下弦材と床の隙間 cm <input type="checkbox"/> 足がかりとなるものの設置無し 		※手すりの位置・形状・仕様がわかる図面等を添付
						イ 窓には、足のかかる部分がない場合は高さ110cm以上、足のかかる部分がある場合は足のかかる部分の高さに85cmを加えた高さ以上(当該高さが110cm未満の場合は、110cm以上)の手すりを設置している。	窓	<ul style="list-style-type: none"> 足のかかる部分 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 手すり高さ cm 手すり子間隔 cm 下弦材と床の隙間 cm <input checked="" type="checkbox"/> 足がかりとなるものの設置無し 	○○○~ ○○○	※手すりの位置・形状・仕様がわかる図面等を添付
						ウ 吹き抜けに面する階段には、足のかかる部分がない場合は120cm以上、足のかかる部分がある場合は足のかかる部分の高さに85cmを加えた高さ以上(当該高さが120cm未満の場合は120cm以上)の手すりを設置している。	吹き抜けに面する階段	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 該当部分あり <input checked="" type="checkbox"/> 該当部分なし 足のかかる部分 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 手すり高さ cm 手すり子間隔 cm 下弦材と床の隙間 cm <input type="checkbox"/> 足がかりとなるものの設置無し 		※手すりの位置・形状・仕様がわかる図面等を添付
						エ バルコニー及び直接外気に開放されている階段、廊下等には、足のかかる部分がない場合は110cm以上、足のかかる部分がある場合は足のかかる部分の高さに110cmを加えた高さ以上の手すりを設置している。	バルコニー及び直接外気に開放された階段、廊下等	<ul style="list-style-type: none"> 足のかかる部分 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 手すり高さ ○○○ cm 手すり子間隔 ○○ cm 下弦材と床の隙間 ○○ cm <input checked="" type="checkbox"/> 足がかりとなるものの設置無し 	○○○~ ○○○	※手すりの位置・形状・仕様がわかる図面等を添付
						オ 上記ア~エの手すりはすべて、子どもがよじ登れないよう縦格子等の形状にし、手すり子と手すり子の隙間は11cm未満としている。		※ 上記の手すり設置箇所ごとに記載	○○○~ ○○○	
						カ 上記ア~エの手すりはすべて、子どもが頭等を入れられないよう下弦材と床との隙間は9cm未満としている。		※ 上記の手すり設置箇所ごとに記載	○○○~ ○○○	
						キ 上記ア~エの手すりの周囲60cm以内には、足がかりとなるものを設置せず、入居者に対しても、管理規約等によりその旨を徹底している。	入居者に対する徹底方法	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 手すりの周囲60cm以内には、足がかりとなるものを設置しないことの徹底 <input type="checkbox"/> 室外機が手すりから60cm未満に設置されている部分は、高さ90cmの柵で覆っている 具体的な内容を記入 室外機を手すりから60cm以上離して設置 	○○○~ ○○○	※管理規約等を添付
ク バルコニーに面する窓は、子どもの手の届かない高い位置への補助錠の設置など、子どもがひとりでバルコニーに入れないような措置を講じている。	補助錠の設置等	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 床上高さ1.5m以上の部分に補助クレセントを設置している <input checked="" type="checkbox"/> クレセント錠はダイヤル錠とし、子どもが容易に開錠できないようにしている。 								
適合数計		1		1						

項目	基準(適合するものを■にしてください)				今回の計画概要	図面番号	備考	
	総合型	安全型	基準					
(2) 転倒事故防止 <住戸専用部分>	■	必須	□	必須	<input checked="" type="checkbox"/> 住戸専用部分の床が段差のない構造 (段差が5mm以下) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <適用除外の段差> ・ 玄関出入口 ・ くつずりと玄関外側 ・ くつずりと玄関土間 ・ 玄関のあがりかまち ・ 浴室出入口 ・ バルコニー出入口 </div>	○○○~ ○○○		
	□	選択 (1以上)	□	選択 (1以上)	<input type="checkbox"/> 素足で使用することが多い洗面室・脱衣所などの床には、滑り抵抗係数(CSR)0.6以上の床材を使用している。 <input type="checkbox"/> 転倒した際にけがをしないよう、弾力性に考慮した下地や、フローリング、クッションフロアなどの床材を使用している。(バルコニー、アルコーブ等の外部空間は除く) <input checked="" type="checkbox"/> キッチンのカウンターテーブルの角の面取り等、子どもがぶつかりやすい部分には、大きなけがをしないような措置を講じている。 <input type="checkbox"/> 転倒対策として、便所の立ち座り及び浴槽出入りのための手すりを設置している。 <input type="checkbox"/> 転倒事故を防止するよう、上記と同等以上の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/> 床材名・材質 <input type="checkbox"/> メーカー <input type="checkbox"/> CSR(滑り抵抗係数)		※仕様が変わるカタログ等を添付
	□		<input type="checkbox"/> 場所・室名 <input type="checkbox"/> 床材名・材質 <input type="checkbox"/> メーカー			※躯体に直接仕上をしない居室等は対策不要 ※仕様が変わるカタログ等を添付		
	■		<input type="checkbox"/> 措置の場所等 <input type="checkbox"/> 措置の内容 角の面取り(R=3)を行う		○○○~ ○○○			
	□		<input type="checkbox"/> 便所の手すり <input type="checkbox"/> 浴槽手すり					
	□		<input type="checkbox"/> 具体的な内容を記入					
適合数計		2		2				
(3) 指はさみ事故防止 <住戸専用部分>	■	必須	□	必須	ドアクローザーの設置 <input checked="" type="checkbox"/> 玄関扉 <input checked="" type="checkbox"/> リビングドア <input type="checkbox"/> その他 ()	○○○~ ○○○	※ドアクローザーを設置した建具がわかるよう図示 ※仕様が変わるカタログ等を添付	
	■	必須	□	必須	引き戸の仕様 <input type="checkbox"/> ストッパー設置 <input type="checkbox"/> 引き戸の数 箇所 <input type="checkbox"/> 戸尻の隙間 cm <input checked="" type="checkbox"/> スロークローズ機能 <input type="checkbox"/> 引き戸の数 箇所	○○○~ ○○○	※ストッパーを設置又はスロークローズ機能を備えた建具がわかるよう図示 ※仕様が変わるカタログ等を添付	
	□	選択	□	選択	玄関扉吊元部分 <input type="checkbox"/> 指はさみ防止加工		※仕様が変わるカタログ等を添付	
適合数計		2		2				

項目	基準(適合するものを■にしてください)				今回の計画概要	図面番号	備考
	総合型	安全型	基準				
(4) その他の対策 <住戸専用部分>	■	必須	□	必須	① 鍵つきの扉は全て、閉じ込め防止のため、外側からも簡単に開けられるようになっている。 ・ 扉 ○ 箇所 ・ 対策の内容 コインなどにより外側から開錠可能となっている	○○○~ ○○○	※鍵つき扉の位置を図示 ※仕様がわかるカタログ等を添付
	■	必須	□	必須	② 浴室の扉には、チャイルドロックを設置している。 ・ 対策の内容 ・ 床面からの高さ ○○○ cm	○○○~ ○○○	※仕様がわかるカタログ等を添付
	■	必須	□	必須	③ 安全装置付きの調理器を設置している ・ 調理器 ■ 備え付け □ 設置無し □ チャイルドロック ■ 立ち消え防止装置	○○○~ ○○○	※仕様がわかるカタログ等を添付
	□		□		④ 避難ハッチには、チャイルドロック等の安全機能が付いたものを使用している。 ・ 対策の内容		※仕様がわかるカタログ等を添付
	□		□		⑤ チャイルドフェンスが設置できるよう、キッチン入り口の形状の工夫や、壁下地を設けている。 ・ 対策の内容		※コンセント位置を図示 ※仕様がわかるカタログ等を添付
	□		□		⑥ 玄関や廊下に足元保安灯を設置している ・ 対策の内容		※仕様がわかるカタログ等を添付
	■		□		⑦ 玄関に人感センサー付きの照明を設置している ・ 対策の内容 埋め込み型を設置	○○○~ ○○○	※仕様がわかるカタログ等を添付
	□		□		⑧ 家具の転倒防止措置を講じることができる壁下地を設けている ・ 対策の内容		※仕様がわかるカタログ等を添付
	□		□		⑨ リビングのコンセント部には、感電防止のための措置を講じている。 ・ コンセント 箇所 ・ 対策の内容		※コンセント位置を図示 ※仕様がわかるカタログ等を添付
	□		□		⑩ 台所包丁収納ポケットには、チャイルドロックを設置している。 □ チャイルドロック設置		
	□		□		⑪ 浴室の水栓金具には、火傷防止対策を講じている。 ・ 対策の内容 □ 壁への埋め込み式 □ 火傷防止用カバー		
	□		□		⑫ 事故を防止するよう、上記に類する工夫を行っている。 ・ 具体的な内容を記入		
適合数計		4		4			
(5) その他の対策 <共用部分>	■	必須	□	必須	① 安全のため、マンションの敷地内では歩行者と車の主要な動線を交差させていない又は明確に区分している。 ■ 動線を交差させていない □ 動線を明確に区分している	○○○~ ○○○	※敷地内での歩行者・車の動線を図示
	■	必須	□	必須	② 歩行者の安全性の確保や隣地への落下物による危険を防止するため、マンション内の建築物の各部分で開口部(窓及びバルコニー(縦格子手すりの手すり子等の間隔が100mm以上の場合に限る。))がある場合は、敷地境界線(敷地内に歩道がある場合は歩道)から当該部分の高さの平方根の2分の1以上離し、その範囲を植栽等で人が立ち入らないようにしている又は開口部は安全ガラスを使用したはめごろし窓とする等の措置を講じている。 ・ 落下物による危険防止措置が必要な開口部 ■ 有 (窓・バルコニー) □ 無 ↓ □ 敷地境界線(敷地内に歩道がある場合は歩道)から当該部分の高さの平方根の2分の1以上離し、その範囲を植栽等で人が立ち入らないようにしている ■ 落下防止措置を講じている 具体的な内容を記入 開口制限を設けている クレセントは全てキー付きとしている	○○○~ ○○○	※開口部のある建築物の各部分と敷地境界線の距離を図面に明示 ※措置をしている場所がわかるよう図示
	■	必須	□	必須	③ エントランスホールやキッズルーム、集会所等にある面積の大きな透明ガラスには、衝突による事故を防止するため、安全ガラスとする又は視認性を高める等して、衝突による事故を防止する対策を講じている。 ・ 場所・位置 ・ 対策の内容 □ 安全ガラス ■ 視認性の確保 具体的な内容を記入 衝突防止マークを付けている	○○○~ ○○○	
適合数計		3		3			

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)				今回の計画概要	図面番号	備考	
		総合型	安全型	基準					
2 侵入を防止する工夫	(1) 防犯 <住戸専用部分/共用部分>	■	必須	□	必須	① 各住戸の玄関扉の鍵はツーロックとし、ピッキング等の不正解除に配慮したものとしている。	住戸の玄関扉の鍵 ■ ツーロック ■ 不正解除対策 対策の内容 ディンプルキーとしている	○○○~ ○○○	
		■	必須	□	必須	② 共用玄関、エレベーター内、キッズルーム前(鍵の管理が管理人等によらない場合に限る。)に防犯カメラを設置している。また、エントランスホール、1階エレベーターホール、メールコーナー、駐輪場、駐車場、児童遊園、ごみ置き場、トランクルームについても、周囲からの見通しが確保されない場合は防犯カメラを設置している。	防犯カメラ ・ 共用玄関 ■ 防犯カメラの設置 ・ エレベーター内 ■ 防犯カメラの設置 ・ キッズルーム前 □ 管理人等による鍵の管理 □ 防犯カメラの設置 ・ エントランスホール □ 周囲からの見通しの確保 □ 防犯カメラの設置 ・ 1階エレベーターホール □ 周囲からの見通しの確保 □ 防犯カメラの設置 ・ メールコーナー □ 周囲からの見通しの確保 □ 防犯カメラの設置 ・ 駐輪場 □ 周囲からの見通しの確保 ■ 防犯カメラの設置 ・ 駐車場 □ 周囲からの見通しの確保 ■ 防犯カメラの設置 ・ 児童遊園 □ 周囲からの見通しの確保 □ 防犯カメラの設置 ・ ごみ置き場 □ 周囲からの見通しの確保 ■ 防犯カメラの設置 ・ トランクルーム □ 周囲からの見通しの確保 ■ 防犯カメラの設置	○○○~ ○○○	
		■	必須	□	必須	③ 共用玄関扉に不正開扉に配慮したオートロック機能を備えている。または、住戸玄関にカメラ付きインターホンを設置している。	オートロックまたはカメラ付きインターホン ■ 共用玄関扉はオートロック機能付き □ 住戸玄関にカメラ付きインターホン設置	○○○~ ○○○	
		■	必須	□	必須	④ エレベーターのかご内に、非常押しボタンを床面から1.5m以下の壁面に設置し、エレベーター外部の防犯ベルと連動している。また、エレベーターに窓等が設置されていない場合は、エレベーターホールの見やすい場所に、かご内の状況を映すモニターを設置している。	エレベーター ■ 非常押しボタン 設置高さ ○○ cm ■ 外部の防犯ベルと連動 □ 窓 ■ モニター設置	○○○~ ○○○	
		■	必須	□	必須	⑤ バルコニー、屋上、隣接する建物等が近接し、共用廊下及び共用階段に侵入の恐れがある場合は、侵入防止対策を講じている。	共用廊下及び共用階段 ・ 共用廊下及び共用階段に侵入の恐れがある箇所 □ 有 ■ 無 ↓ □ 侵入防止対策 対策の内容	○○○~ ○○○	

	<input checked="" type="checkbox"/>	必須	<input type="checkbox"/>	必須	⑥ 接地階の窓には、避難計画上支障のない範囲において、合わせガラス、防犯フィルム、鍵付クレセント又はシャッターの設置等、侵入防止対策を講じている。	接地階の侵入防止対策 設地階の住戸 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 合わせガラスの設置 対策の内容		※合わせガラス等の設置個所を平面図に明記
	<input checked="" type="checkbox"/>	選択	<input type="checkbox"/>	選択	⑦ 全住戸に非常通報装置を設置し、常時、管理人又は警備会社に対応、措置できる体制を確保している。	非常通報装置 <input checked="" type="checkbox"/> 非常通報装置設置 <input type="checkbox"/> 常時対応 対策の内容	○○○~ ○○○	
適合数計		7		6	※下記「大阪府防犯モデルマンション制度」の推薦・登録を受けている場合は適合とみなす(適合数7)			
	<input type="checkbox"/>	適合	<input type="checkbox"/>	適合	「大阪府防犯モデルマンション登録制度」の推薦証・登録証の交付を受けるものである。	・書類審査適合証 年 月 日 ・推薦証 年 月 日 ・登録証 年 月 日		

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)				今回の計画概要	図面番号	備考	
		総合型	安全型	基準					
3 災害に備える工夫	(1) 防災 <住戸専用部分/共用部分>	<input checked="" type="checkbox"/>	必須	<input type="checkbox"/>	必須	① 吊り戸棚がある場合、耐震ラッチを設置している。	吊り戸棚の耐震ラッチ ・ 吊り戸棚 <input checked="" type="checkbox"/> 有(耐震ラッチ付) <input type="checkbox"/> 無	○○○~ ○○○	※設置している吊り戸棚の位置を図示 ※仕様が変わるカタログ等を添付
		<input checked="" type="checkbox"/>	必須	<input type="checkbox"/>	必須	② 大阪市が作成している防災関連情報(「市民防災マニュアル」、「防災マップ」、「水害ハザードマップ」)を提供する。	防災関連情報の提供 ■ 市民防災マニュアル ■ 防災マップ・水害ハザードマップ (○○○区) ・ 提供方法		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必須	<input type="checkbox"/>	必須	③ エレベーターには予備電源付き地震時管制運転装置を設置している。	全てのエレベーター ■ 予備電源付き地震時管制運転装置	○○○~ ○○○	※設置していることがわかるよう図示
		<input checked="" type="checkbox"/>	選択	<input type="checkbox"/>	選択	④ 新築マンションについては、災害時に住戸内から共用廊下への通行を確保するために、各住戸の玄関ドアをJIS(日本工業規格)におけるA4702 面内変形追随性の規定におけるD-3等級同等以上の耐震ドア(耐震枠付き玄関ドアまたは耐震丁番付きの玄関ドア)とし、あわせてドアガードも耐震型とすること。 ただし、既存マンションにおいて上記の対策ができない場合は、ア 玄関ドアの設置位置が躯体の壁面から外れている。 イ 共用廊下に面した窓の面格子を非常時脱出対応型としている。	災害時の通行確保 ■ 予備電源付き地震時管制運転装置 <input type="checkbox"/> 耐震丁番付き玄関ドア(") ■ ドアガード(耐震性に配慮) <input type="checkbox"/> 玄関ドアをアルコーブ部分に設置 <input type="checkbox"/> 非常時脱出可能な面格子を設置		※仕様が変わるカタログ等を添付
	適合数計		4		3	※下記「大阪市防災力強化マンション」の認定を受けている場合は適合とみなす(適合数4)			
		<input type="checkbox"/>	適合	<input type="checkbox"/>	適合	① 大阪市防災力強化マンションの認定を受けるものである。	・ 事前協議 年 月 日 ・ 計画認定 年 月 日 ・ 竣工 年 月 日		
工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)				今回の計画概要	図面番号	備考	
		総合型	安全型	基準					
4 健康を維持する工夫	(1) シックハウス対策 <住戸専用部分>	<input checked="" type="checkbox"/>	必須	<input type="checkbox"/>	必須	① 内装仕上げ及び天井裏等に日本住宅性能表示基準「6-1ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)」で規定する合板や複合フローリングなどの建築材料(以下「特定建材」という)を使用する場合は、同基準の等級3相当以上とする。	内装 ・ 特定建材の使用 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ↓ ・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散が大きい建材 ■ F☆☆☆☆(等級3)	○○○~ ○○○	※等級がわかるカタログ等を添付
							天井裏等 ・ 特定建材の使用 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ↓ ・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散が大きい建材 ■ F☆☆☆☆(等級3)	○○○~ ○○○	
適合数計			1		1				

視点2 快適で安心 <住戸専用部分>

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)			今回の計画概要	図面番号	備考
		総合型	安全型	基準			
1 子どもの成長に応じて暮らしを変化させられる工夫	(1) 間取りの変化<住戸専用部分>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	① 躯体天井の高さが265cm以上ある。 ② 間取りの変更により子ども部屋を確保できる平面計画である。 ③ 子どもの成長に応じて暮らしを変化させられるよう、上記と同等以上の工夫を行っている。	高さ ○○○ cm	○○○~ ○○○	※図面に寸法線を記載
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		図面上の室名		※間取りの変更後の子ども部屋を明示(子ども部屋の目安:5畳程度)
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		具体的な内容を記入		
	適合数計		1				
2 子どもの様子を確認できる工夫	(1) 間取り等の工夫<住戸専用部分>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	① 子どもの様子が確認できるよう、キッチン是对面式としている。 ② 家族が集うリビングやダイニングには、子どもが遊んだり、勉強でき、親がテレワークできるスペース(リビングやダイニングと一体的に利用できる和室、書斎コーナーなどがある場合も含む)がある。 ③ 子どもが遊んだり、勉強したりする様子を確認できるよう、上記と同等以上の工夫を行っている。	■ 対面式キッチン有	○○○~ ○○○	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		面積 量 図面上の名称		※リビングやダイニングが十分に広い場合も含む(目安:15畳程度) ※該当するスペースがわかるよう図示
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		具体的な内容を記入		※図面以外の資料(販売パンフ等)があれば添付
	適合数計		1				
3 子どもも大人も快適に暮らせる工夫	(1) 生活音対策<住戸専用部分>	<input checked="" type="checkbox"/>	必須	① 上階界床及び下階界床は、軽量床衝撃音対策として日本住宅性能表示基準「8-2 軽量床衝撃音対策」の等級4以上及び重量床衝撃音対策として「8-1 重量床衝撃音対策」の等級4以上の構造である。 ② 界壁は、日本住宅性能表示基準「8-3 透過損失等級(界壁)」の等級3以上の構造である。	日本住宅性能表示基準 「8-2 軽量床衝撃音対策」 ○○ 等級 「8-1 重量床衝撃音対策」 ○○ 等級	○○○~ ○○○	※等級がわかるカタログ等を添付
		<input checked="" type="checkbox"/>	必須		日本住宅性能表示基準 「8-3 透過損失等級(界壁)」 ○○ 等級 ■ 鉄筋コンクリート壁 厚さ○○mm≥180mm	○○○~ ○○○	※等級がわかるカタログ等を添付
	適合数計		2				
	(2) 整理整頓<住戸専用部分>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	① 収納率(次式で算定したものが8%以上ある。 <算定式> (S1+S2)÷当該住戸の専有部分の面積(m ²)×100 S1:高さ180cm以上の収納部分の水平投影面積(m ²) S2:高さ180cm未満の収納部分の水平投影面積(m ²)×(当該収納部分の高さ(cm)÷180) ② 玄関周りに、ベビーカー、三輪車等を置くことができる一辺50cm以上、他辺100cm以上のスペースがある(玄関扉の軌跡部分を除く)。 ③ 玄関の付近に、遊具や泥のついたものを収納できるトランクルーム等の収納空間がある。 ④ 子どもも大人も整理整頓がしやすいよう、上記と同等以上の工夫を行っている。	収納率 ○○○ % %	○○○~ ○○○	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		大きさ 1辺 cm 他辺 cm		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		大きさ 高さ cm 幅 cm 奥行き cm 図面上の名称		
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	具体的な内容を記入				
適合数計		1	1				

視点3 便利で安心 <住戸専用部分・共用部分>

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)			今回の計画概要	図面番号	備考	
		総合型	安全型	基準				
1 便利でスムーズにお出かけできる工夫	(1) 移動 <共用部分>	■	必須	□	・ 段差 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ↓ ・ スロープ等の設置 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	○○○~ ○○○	※各住戸からエントランスを経て、敷地外へ至る動線、各住戸から駐車場までの動線を図示	
		■	必須	□	・ 操作ボタンの位置 ○○○ cm ・ 台数 ○○ 基	○○○~ ○○○	※どのEVが該当するのか図示	
	適合数計		2					
	(2) 便利 <共用部分>	■		□	① 認定対象住戸数×2台以上が駐輪でき、子どもの自転車や子ども乗せ自転車等を置きやすいよう、その半数以上が地上レベルで簡単に駐輪できる自転車駐輪場(サイクルポート(住戸毎に区画を分けた自転車専用のスペース)、平置き型、スライドレール型等で、傾斜ラックや2段ラック等、自転車を高く持ち上げて停めるものを除く。)を設けている。	駐輪台数 ○○ 台 ≥ ○○ 台 (認定対象住戸数×2台) 平置き台数 ○○ 台 ≥ (駐輪台数/2) 内訳 [形式] [区画数・台数] サイクルポート ○○ 区画 平置き型 ○○ 台 スライドレール ○○ 台	○○○~ ○○○	※形式ごとの駐輪台数がわかるよう図示
		□		□	② 住棟のいずれかの出入口付近に、手を洗ったり、泥汚れ等を落としたりできる洗い場がある。	□ 住棟出入口付近に洗い場設置		※設置場所がわかるよう図示
		□	選択(2以上)	□	③ エントランスホール付近に、子どもの利用に配慮した共用トイレを設け、その扉には閉じ込め防止のため、外側から開錠できる鍵を設置している。	□ 子どもの利用に配慮した共用トイレの設置 □ 鍵の設置(外側から開錠可)		※設置場所がわかるよう図示
		□		□	④ 雨がかりなく車に乗り降りできるよう、エントランスに車寄せがある又は、駐車場から住棟内まで雨に濡れずに移動できるようになっている。	・ 場所・位置 ・ 具体的な措置内容		※設置場所がわかるよう図示
		■		□	⑤ 集会所やキッズルーム、上記③の共用トイレなどに、おむつ替え台やイスなどを備えたおむつ替えと授乳のためのスペースを設けている。	■ おむつ替えと授乳のためのスペースの設置 ・ おむつ替え台 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・ イス <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・ その他 ()	○○○~ ○○○	※おむつ替えと授乳のためのスペースがわかるよう図示
		□		□	⑥ 子どもと一緒に出かける際などに便利なよう、共用部において上記と同等以上の工夫を行っている。	・ 具体的な内容を記入		
	適合数計		2					
2 暮らしに便利な工夫	(1) 子どもに便利 <住戸専用部分又は共用部分>	■	必須	□	・ 具体的な内容を記入 ・ 扉は全てレバーハンドル ・ 人感センサー付き玄関証明	○○○~ ○○○	※仕様がわかるカタログ等を添付	
	適合数計		1					
	(2) 大人にも便利 <住戸専用部分又は共用部分>	■	必須	□	・ 具体的な内容を記入 ・ 備付の食洗器、ディスポーザー ・ 共用部にテレワークスペースの設置	○○○~ ○○○	※仕様がわかるカタログ等を添付	
適合数計		1	1					

視点4 楽しくて安心 <共用部分>

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)			今回の計画概要	図面番号	備考	
		総合型	安全型	基準				
1 屋内外で遊んだり、交流したりできる工夫	(1) キッズルーム等 <共用部分>	■	必須	□	① マンション内に以下の要件を全て満たすキッズルームを設置している。ただし、賃貸マンションにあっては、キッズコーナーの設置をキッズルームの設置とみなすことができるものとする。この場合において、オのキッズルームをキッズコーナーと読み替える。 ■ キッズルーム □ キッズコーナー(賃貸に限る)			
					ア エントランスホール付近など、入居者が使いやすく、立ち寄りやすい位置にあり、子どもだけで遊べるような運営を行う場合には、中の様子がエントランスホール等の共用部分から確認できるようにになっている。 ・ 子どもだけで遊べるような運営 ■ 有 □ 無 ↓ ■ 共用部分から中の様子が確認できる		○○○~ ○○○	
					イ 転倒した際にけがをしないよう弾力性に考慮した下地や床材を使用している。 下地・床材 ・ 床材名・材質 表面:長尺シート 下地:クッション材 ・ メーカー ○○○○		○○○~ ○○○	
					ウ 出入口扉及び室内にある扉には、「視点1 安全で安心 1-(3)」に準じた指はさみ事故を防止するための措置を講じている。 指はさみ事故防止 ・ ドアクローザーの設置 ■ 出入口扉 □ その他() ■ 出入口扉吊元部の指はさみ防止加工 ・ 引き戸の仕様 □ ストッパー設置 ・ 引き戸の数 箇所 ・ 戸尻の隙間 cm ■ スロークローズ機能 ・ 引き戸の数 ○○○○ 箇所		○○○~ ○○○	※ドアクローザーやストッパーを設置した建具がわかるよう図示 ※仕様がわかるカタログ等を添付
					エ 室内のコンセント部分には感電防止の措置を講じている。 コンセントの感電防止措置 ・ コンセント ○○○○ 箇所 ・ 対策の内容		○○○~ ○○○	※仕様がわかるカタログ等を添付
					オ 管理規約等でキッズルームとしての利用が、適切で安全になされるよう規定するものである。 キッズルームの適切な利用 ■ 管理規約等への規定		○○○~ ○○○	※管理規約等を添付
					カ 面積は、認定対象住戸数が50戸以下の場合、認定対象住戸数×0.5㎡以上、認定対象住戸数が50戸を超える場合は25㎡以上確保されている。 キッズルーム面積 ・ 認定対象戸数 ○○○○ 戸 ・ 面積 ○○○○ ㎡		○○○~ ○○○	
					キ おもちゃなどを収納できる倉庫や物入れ等の空間がある(認定対象住戸数が50戸を超える場合のみ必須)。 倉庫・絵本・本棚(認定対象住戸数が50戸を超える場合) ■ 倉庫・物入れ等 ■ 絵本・児童書 ○○○○ 冊 ≥ 100冊 □ 本棚		○○○~ ○○○	※おもちゃなどを収納できる倉庫を図示
					ク 100冊以上の絵本や児童書を備え付けた、造り付けの本棚を設置している(認定対象住戸数が50戸を超える場合のみ必須)。		○○○~ ○○○	※本棚の位置を図示 ※絵本・児童書のリストを添付
適合数計		1						

(2) 児童遊園等 〈共用部分〉	□	□	選択 (1以上)	① マンション内に以下の要件を全て満たす児童遊園や広場等(子どもが遊んだり、保護者同士が交流したりできる屋外の空間で、法令や他の制度に基づき設ける緑地や広場と兼用することができる)を設置している。			
				ア エントランスの付近など、使いやすく、立ち寄りやすく、人目につきやすい位置にある。			※エントランスとの位置関係がわかるよう図示
				イ 敷地面積に3%を乗じた面積以上の広さがある。	・ 面積 (敷地面積×3%= m ² m ²)		
				ウ 子どもが安全に遊べる遊具や親同士の交流を促すベンチ等を設置している。	・ 遊具 □有 □無 ・ ベンチ □有 □無		※遊具やベンチを図示 ※遊具やベンチの具体的な仕様がわかるカタログ等を添付
				エ 車道に接する位置に出入口を設ける場合は、子どもの飛び出し事故防止のため、車止めを設置するなどの措置を講じている。	・ 飛び出し事故防止対策 具体的な内容を記入		※出入口からの飛び出し防止対策がわかるよう図示
				② エントランスから徒歩5分圏内(1分80mで換算)に子どもが遊べる公園(都市公園法に基づく住区基幹公園の街区公園、近隣公園、地区公園)がある。	・ 公園名 ○○○公園 ・ 歩行距離 ○○ m	○○○~ ○○○	※マンションとの位置関係・距離がわかるよう図示し、距離を記入
③ 敷地内に交流を促す家庭菜園を設けている。	・ 具体的な内容を記入						
④ 敷地又は建物内に、交流を促すベンチを設けている。	・ 具体的な内容を記入						
⑤ 屋外で遊んだり、交流したりできるよう、上記と同等以上の工夫を行っている。	・ 具体的な内容を記入						
適合数計		1		1			

視点5 いろいろ安心 <その他>

工夫	項目	基準(適合するものを■にしてください)			今回の計画概要	図面番号	備考	
		総合型	安全型	基準				
1 子育て支援する工夫や子育てしやすい周辺環境が充実している	(1) 子育て支援情報の提供 <その他>	■	必須	□	① 以下の全ての情報提供を継続的に行う。 ア 大阪市の子育て情報冊子をキッズルーム等に常設、かつ希望者には同情報を提供する。 イ 区の子育て支援情報や地域の子育て支援情報等をキッズルームや掲示板等に掲示する。	・ 大阪市の子育て情報冊子を常設 常設場所 キッズルーム ・ (〇〇〇)区や地域の子育て支援情報の掲示 掲示場所 キッズルーム	〇〇〇~ 〇〇〇 〇〇〇~ 〇〇〇	
	適合数計		1					
	(2) 子育て世帯のコミュニティ形成 <その他>	■	必須(分譲のみ)	□	① 事業者は、入居開始後1年以内に、マンション内の子育て世帯の交流につながる機会を創出する。	・ 具体的な内容を記入 ・ 夏祭りの開催 ・ 開催時期 〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇〇~ 〇〇〇	※チラシ等があれば添付
	適合数計		1					
	(3) ソフト面からの支援や周辺環境の充実 <その他>	□		□	① 子育て支援サービスの提供を入居開始後1年以内に開始し、そのサービスを1年以上継続する。	・ 具体的な内容を記入		※提供するサービスの内容や提供方法、業務委託の有無など、詳細がわかる資料を添付
		■		□	② キッズルーム、エントランス等を地域に開放しイベント等に提供する等、地域との交流機会を創出する。	・ 具体的な内容を記入 ・ 地域の子供たちも参加型の絵本読み聞かせ会を開催	〇〇〇~ 〇〇〇	※チラシ等があれば添付
		□		□	③ エントランスから徒歩5分圏内(1分80mで換算)以内の距離に、以下に示す施設が1以上ある。 ア 教育施設(幼稚園、小学校など) イ 保育施設(保育所、認定こども園など) ウ 医療施設(小児科があること) エ 子育て支援施設(子ども・子育てプラザや子育てサークルを提供する場など)	・ 教育施設 施設名称 歩行距離 m ・ 保育施設 施設名称 歩行距離 m ・ 医療施設 施設名称 歩行距離 m ・ 子育て支援施設 施設名称 歩行距離 m		※マンションとの位置関係がわかるよう図示
		□		□	④ 子育て支援に資するマンションの付属施設がある(子どもが使いやすい仕組み・仕様のシアタールームや図書室など)。	・ 施設名称		
		■		□	⑤ 全ての認定対象住戸において、適合している基準の合計数(本基準は除く。)が、分譲マンションにおいて41以上、賃貸マンションにおいては40以上である。	・ 適合基準合計数 合計数:40		
		□		□	⑥ 入居者の子育てをソフト面から支援する又は周辺環境が充実するよう、上記と同等以上の工夫を行っている。	・ 具体的な内容を記入		
適合数計		2	2					